



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	二〇〇五年度行事報告
Citation	基督教學, 41, 33-34
Issue Date	2006-06-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/46699
Type	other
File Information	41_33-34.pdf



二〇〇五年度行事報告

第四回大会 七月一八日（月） 於・北海道大学
理 事 会

研究発表会

一、ボンヘッフアーにおける苦難の問題

北海道大学院博士後期課程 鶴島 暁

二、ミリタリーチャプレン

―米軍における士官としての聖職者―

北海道大学 石川 明人

三、イエズス会の対日軍事力行使をめぐる諸問題

苫小牧駒沢大学 高橋 裕史

四、パウロの心身論

北海道大学 千葉 恵

総 会

〔報告〕

(1) 二〇〇四年度行事・会計・会計監査報告を承認した。

(2) 退会者…由井 哲夫（ご逝去）

〔協議〕

(1) 学会の今後のあり方について。

① 本学会と日本基督教学会北海道支部は、学術研究活動は共同で行うこともありうるとしても、会計等の組織運営に関しては相互に独立した組織として運営される。

② したがって、二〇〇六年度以降、本学会は日本基督教学会からの助成金を受け取らない。

③ 二〇〇六年度以降の本学会の活動方針については、多様な立場の方々が加入できるように、二〇〇六年度の総会までの間に、理事会においてそのあり方を根本的に検討し、総会に報告する。

(2) 次期大会は、旭川において二〇〇六年七月一七日（月）に開催する。

(3) 『基督教学』第41号を発行する。編集委員として次の各氏を選出した。

阿部 包、石川明人、宇都宮輝夫、
小林 敬、白井暢明、山我哲雄

(4) 二〇〇五年度予算案を決定した。

(5) 個人情報保護法との関連から、今後当面は、本学会の名簿（個人情報）は会の運営作業にたずさわる者のみを利用し、従来のような全会員への配布は行わないこととする。

懇親会

執筆者紹介

鶴島 暁 北海道大学大学院博士後期課程

石川明人 北海道大学助手

高橋裕史 苫小牧駒澤大学助教授

牧野玲子 学校法人藤学園草加藤幼稚園副園長